

活動	農地維持活動		
区分	地域資源の適切な保全管理のための推進活動	活動項目	22 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会の開催
取組	有識者等による研修会、有識者を交えた検討会の開催		
取組概要	構造変化に対応した保全管理の目標に基づいた活動を行うこと。		
ふりがな	ふくたなんぶちいきげんほぜんこうじょうかつどういんかい	ふりがな	たかおかし つじ・くらのまち・あらみさき
組織名	福田南部地域資源保全向上活動委員会	実施場所	高岡市 辻・蔵野町・荒見崎
活動内容	<p>JAが主催する農業者(3集落別に開催)を対象とする「座談会」を開催した際、高岡市農業協同組合とタイアップし講師に営農指導員及び、農機具会社技官を招き、農地維持に関する技術指導を受けた。また、「富山県担い手育成ほ場整備研修会」の参加者から報告会を行い、農地維持活動事業を円滑に推進するとともに、活力ある農業・農村を目指している。</p> 		
背景・経緯	<p>効率化を図るために組織化した営農活動に取り組んでいると、どうしても個人としての管理意識が低くなってしまいう側面がある。営農活動のすべてを営農組織に「おまかせ」するのではなく、個人でも草刈りや田圃の水等を管理していくという意識を造成していきたい、また、若い世代に知識や技術を継承していく場として担い手育成の一助としたいという思いから、例年継続的に実施している。</p>		
時期・回数	2月		
参加者	農業者、営農指導員、農機具会社技官等 約40名		
配慮事項	<p>農家・非農家の混在化が進んでいることから、農家だけではなく、非農家も一緒になって活動していけるよう、環境美化活動施策の提案・検討等も行っている。また、兼業農家の割合が高い当地域においては、生産組合、営農組合、農事組合及び水資源関連打合せ会等会議を開催するにあたっては、ほかの会議と日時を合わせて複数同時開催することで出席者の負担を少なくし、出席率の向上を図るよう工夫を凝らしている。</p>		

活動	農地維持活動		
区分	地域資源の適切な保全管理のための推進活動	活動項目	22 有識者等による研修会、有識者を交えた検討会の開催
取組	有識者等による研修会、有識者を交えた検討会の開催		
取組概要	構造変化に対応した保全管理の目標に基づいた活動を行うこと。		
ふりがな 組織名	ごかやだいにちくかんきょうほぜんすいしんいんかい 五鹿屋第2地区環境保全推進委員会	ふりがな 実施場所	なんとしたち 南砺市館
活動内容	<p>地域の環境を保全するためには、営農を継続できる効率的な体制の構築が不可欠であると考えていることから、営農で手間のかかる給排水のICT化に取り組んでいる先進地で研修・検討を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>導入経緯・評価等の概要説明受講模様</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>現地での動作説明・実演模様</p> </div> </div>		
背景・経緯	<p>当地区は集積率78%、会員の6割以上が土地持ち非農家であるが、環境保全活動の原点は会員全員で営農に対する理解を共有する取組みの継続であると考えている。今回の研修は、効率的な営農に向けて、IT技術を活用した「自動水門」を導入している営農組合で諸課題について指導を受けた。</p>		
時期・回数	10月 1回		
参加者	9名（営農者4名 土地持ち非農家5名）		
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・土地持ち非農家が多いことから、単なる営農技術ではなく、地区の営農環境保全に関連ある項目を取り上げるようにしている ・研修概要を全会員に回覧して希望者を募っている。 ・取組みについては広報誌に取り上げている。他組織へのPRはない。 ・事前に当地区の状況等を簡単に説明し、講師に理解してもらうよう配慮している。 		